

入間東部

広域斎場視察

『しののめの里』

4月14日(月)、富士見市下南畑に完成した入間東部広域斎場「しののめの里」を三芳町議会議員団で視察しました。

1月に完成前の施設を会派で視察しましたが、内装、外構の工事



救急富士見第1号の内部

も終わり、見違えるように立派にできあがっていました。

「しののめの里」のネーミングは公募によるもので、「しののめ」は「東雲」と書き、「施設が入間地域の東に位置していると共に、故人が東の空へ雲となり、安らかにたなびき、その家族を見守っている様子」をイメージしています。

この施設は、管理運営を民間事業者に行わせる「指定管理者制度」を導入し、「いるま野農業協同組合」が選ばれました。

6月3日供用開始で、4月28日、29日の二日間施設の内覧会が開催されます。

団体の場合は、それ以外の日時でも日程があれば見学できるそうです。

問い合わせ先 「しののめの里」
電話049(257)3030

木の宮地藏堂の縁日

上富にある木ノ宮地藏堂は、子授け・安産にご利益があるとされています。江戸時代には何度かの荒廃や焼失などの記録があり、現在の本堂は安永6(1777)年に再建されたものです。その本堂内には木造の地藏菩薩半伽像が安置され、天井には江戸時代に描かれた107枚の植物画がされています。また、本堂の裏へまわると、石の地藏尊が祀られた奥之院があります。4月23、24日は、木

ノ宮地藏堂の

縁日で、露店が多く立ち並び、春は植木市が賑やかです。皆さんもぜひ出かけてみてはいかがでしょうか。



地藏様の縁日の様子